

Press Release

2024年6月21日

香川大学に防災科学技術研究所サテライトオフィス開設 開所式を6月28日に開催

国立大学法人香川大学（以下、「香川大学」という。）と国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」という。）は、平成28年7月19日より、「連携協力に関する協定書」を締結し、教育および研究ならびに地域貢献等の分野で、連携・協力してきました。

この度、自然災害のハザード・リスク評価に関する情報や観測データの利活用と社会実装、地域の防災リテラシーの向上などについて、これらの課題に取り組む窓口・拠点として香川大学内に防災科研サテライトオフィスを設置します。これにより、連携・協力を有効かつ円滑に進め、さらなる防災科学技術の振興、四国地域の安全・安心への貢献および人材育成に寄与することを目指します。

つきましては、当サテライトオフィスの開所式を以下のとおり挙行いたしますので、ぜひ取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<開所式>

【日時】2024年6月28日（金） 13:30~14:30

【会場】香川大学林町キャンパス 6901室、6904室（6号館9階）
（香川県高松市林町2217番地20）

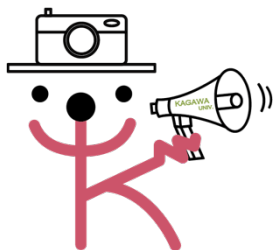
【式次第】

- 開会
- 挨拶（末永 慶寛創造工学部長）
- 挨拶（国立研究開発法人防災科学技術研究所 研究主監 藤原 広行）
- サテライトオフィスの設置経緯説明（今後の活用・展望等）
- 閉会挨拶（吉田 秀典副学長（危機管理・教員評価・学術・特命担当））
- 写真撮影

【参考】サテライトオフィス開設については別紙参照

防災科学技術研究所 <https://www.bosai.go.jp/>

○本件配布先：文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、香川県教育記者クラブ



➤ お問い合わせ先
<香川大学>
四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 特任教授 金田
TEL：087-832-1666
※上記不在の場合 香川大学学術部研究協力課 篠原
TEL：087-832-1313 FAX：087-832-1319

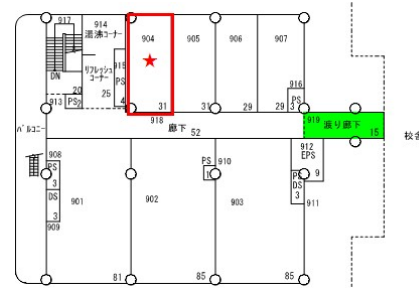
<国立研究開発法人防災科学技術研究所>
企画部 広報・ブランディング推進課 若月 入沢
TEL：029-863-7798 E-Mail：press@bosai.go.jp

開設目的

サテライトオフィスは、国立研究開発法人防災科学技術研究所（以下、「防災科研」という。）と香川大学（以下、「本学」という。）が連携・協力して、自然災害のハザード・リスク評価に関する情報や観測データの利活用、地域の防災リテラシーの向上などの課題等に取り組むための拠点とする。

開設場所

本学林町キャンパス
6904室（6号館9階）



防災科研と本学とのこれまでの主な連携実績

◆ 連携協定

- ・防災科研、海洋研究開発機構、坂出市、本学との4者間（R3～）
- ・連携協力に関する協定書（防災科研と本学との2者間）（H28～）
- ・観測データの南海トラフ地震・津波災害対策への活用に関する連携協力協定

◆ 共同研究等

- ・「DONETデータを用いた津波即時予測システムの高度利用に関する研究」（R2～）
- ・セコム財団 特定領域研究助成「香川県を対象とした災害時リアルタイム対応支援システム構築の試み」（R6～R8）
- ・科学技術試験研究委託事業「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」（R2～R6）
- ・SATREPS（JICA/JST）「災害に強い社会を発展させるためのトルコにおける研究と教育の複合体の確立-マルテスト」（R5～R9）
- ・NICT委託研究「AI開発で生み出す次世代型復興モデルの構築を行う研究開発～高松市をモデル地域とした取り組み～」（R5～R7）

◆ 教育

- ・JST国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）講師

◆ シンポジウム、勉強会等

- ・海洋科学の未来とレジリエンスサイエンスシンポジウム
- ・DONET勉強会（参加機関：香川県、坂出市、丸亀市、四国地方整備局、高松地方気象台、四国電力、JR四国等）
- ・DONET情報を用いた避難訓練・図上訓練（坂出市）



期待される成果等

- ①海底観測網DONET等の観測データとハザード・リスク評価を活用した南海トラフ地震被害・津波被害想定及び対策の推進
- ②防災研究の進展とその成果による社会実装の促進
- ③①②による科学研究費補助金等、外部資金獲得の増進
- ④防災科研研究者による本学学生への指導機会増加により、本学学生の防災リテラシー向上や就職先としての可能性向上